

熊野磨崖仏のそびえ立つ石像に加え、千年にもなる石碑が国東の狭い山の小径や山道に沿って散在するのが見られる。最も一般的な二つの型は五輪塔、国東塔という石でできた道標である。両方とも典型的に一つの石から削られているが、別々の石が積まれたように見えるよう作られている。五輪塔のそれぞれの層は伝統的な 5 つの要素の一つを表している。下の層から見えていくと、土、水、火、風と宇宙空間である。国東塔は、一番上の層が縦長になり、いくつかの蓮の花が積み重なった形で空に向かって伸びている点を除いて、構想に於いて五輪塔に似ている。